

校章

昭和 22 年 7 月制定

図案 渡辺茂夫 教諭

金津の油田を図案化したものです。

4つの油田が集まって大きな油田になっています。
井桁及び中の赤は燃えるがごとき若人の熱意と愛を表し、白色地は純真潔白な心を表したものです。



は自由に伸びる力を表す。



バッジ

井桁及び中の字の赤は燃えるが如き若人の熱意と愛を表し、白色地は純真潔白な心を表す。



校章

燃ゆる赤の産地として全国知られその名も金の出る港(津)即ち金津村と命名したは誰か詳でないが一時石油で繁昌した村であった、現今衰微して湧出も僅少であるが往時を偲ぶに石油の取も相応しいので井を同案化し、四つ組合せ拳村一致の下に産業界の振興を図り、社会団体の協調念願とする内容を持つ、学び舎を築いた若人は実社会で自由に活躍新分野開拓に邁進される事を希望する

自由に伸びる力